

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.704

2026年3月30日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!



Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION 経営協議会を開催

2026年度運営方針について議論

Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION

3月30日、経営協議会を開催し、「2026年度運営方針」について会社から説明を受けた。

運営方針では、引き続き、全ての施策の大前提となる安全の確保を最優先として、「業務改革」と「収益の拡大」の2つを柱とした経営体力のさらなる強化に取り組むとともに、中央新幹線については、品川・名古屋間の総工事費が増加する見通しとなったことを踏まえ、プロジェクト管理機能を強化し、早期実現に向けて取り組むとしている。これらについて「自由に考え、大いに議論し、粘り強くやり抜く」ことで、当社グループの総力を挙げて「日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献する」という経営理念をより高いレベルで実現していく方針が示された。

その上で、「安全・安定輸送の確保」、「経営体力のさらなる強化」、「輸送サービスの充実」、「中央新幹線計画の推進」、「超電導リニアの技術開発によるコストダウン及びブラッシュアップ」、「営業施策の強化」、「技術開発の推進及び技術力の強化」、「グループ事業の推進」、「高速鉄道システムの海外展開」、「人材育成及び労使関係の充実」、「地球環境保全等の持続可能な社会の実現に向けた取り組み」の各項目について、施策の趣旨や具体的な内容について確認するとともに、この間、総対話行動等で寄せられた組合員からの意見を踏まえた議論を展開した。

議論を通じて、労使がそれぞれの立場において充実した取り組みを進めるとともに、2本のパイプを最大限活用し、社員、組合員の声を汲み取っていくことが重要であることを改めて確認した。

今後も「将来宣言」の趣旨に基づく労使関係をより一層強固なものとし、将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せの実現に向けて、不断に労使交渉・協議を展開していく。

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。